

聖剣伝説 Legend of Mana RTA

文責：Ralf

聖剣伝説 Legend of Mana RTA は駒場祭 1 日目のサブ企画として行われました。本来は個人プレイを行う前に協力プレイ（2P コントロールあり）で RTA をやろうと思っていたのですが、パートナーが来なかったため没になりました。まあ、協力 RTA は次の機会にということで。

駒場祭での記録と自己ベストタイムは以下の通りです。

checkpoint	駒場祭での記録	自己ベスト記録
New Game	0:00:00	0:00:00
ドラゴンキラー編開始	0:18:22	0:17:44
ドラゴンキラー編終了	1:31:40	1:23:28
マナの聖域突入	1:53:16	1:45:27
マナの女神撃破	2:02:56	1:53:24
fin	2:12:53	2:03:46

○RTA の戦略（簡易）

詳細な戦略は

<http://space.geocities.jp/ralfbalt/seikenLOMrt.html>

を参照していただくとして、ここでは簡単に戦略を説明したいと思います。

初期装備はランスを選択します。まず、「まいごのプリンセス」「ペット牧場」をクリアした後に「精霊の光」をクリアし、奈落を出現させます。ここからドラゴンキラー編開始です。一連のイベント（「紅き墮帝」「群青の守護神」「課外活動」「紫紺の怨霊」「白妙の竜姫」「真紅なる竜帝」）を一気にクリアしてしまいます。途中、ノルン山脈のチビデビルからトゥールスピーアを入手して攻撃力を確保しておきます。また、骨の城に入る前にペットをマイホームから連れてきて、以降クリアまでペットを同行させます。ドラゴンキラー編が終了した後、「砂浜のメモリー」「ニキータ商い道中」をクリアしてランド数を 18 個確保し、かつ店レベル 27 以上の店を出現させてプラチナランスとプラチナ防具を購入します。あとは「夢の檻の中へ」をクリアしてマナの剣を入手、マナの女神を倒して「マナ」をクリアすればエンディングです。また、必殺技としてドゥ・インク戦で旋風槍を習得、さらなる攻撃力を確保するためにルナティックダंकを習得しますが、うまく調節すればフルメタルハガー戦の前に習得可能です。

○駒場祭レポート

駒場祭で実行した戦略ですが、前述の URL のサイトに掲載されてある戦略との違いは、「ペット牧場」でのペット捕獲方法を追尾からエサ設置に変えただけで、あとはすべて同じです。この戦略は運が絡む要素がほぼありませんが、唯一チビデビルのトゥルースピアのドロップは運が絡みます。デフォルトでドロップ率は 1/8。この戦略だとトゥルースピアで終盤までクリアしないといけないため、確率は低くてもここで入手しないと詰みます。駒場祭ではノルン山脈山道入口にいるチビデビルに十数回挑みましたがドロップせず、先に風読み士を 3 人倒して山頂付近にいるチビデビル×2 に数回挑み、ようやくトゥルースピアを入手することができました。ちなみに自己ベスト記録のときはチビデビル二匹目でゲットしました。

あとはメガロードが発狂したり、強敵ガイコツ戦士にスライディング連発でハメられて死亡したり、マナの女神に一度負けたりしましたが、タイムロスといえるのはこれらぐらいで、ゼーブルファーもラルクもおとなしかったですし、マナの女神（再挑戦）に至っては天上天下(1)が来る前に倒せてしまいました。これはこれまで RTA をやってきた中でも初めてのことでした。

総合的に見て、トゥルースピア以外は至って普通の運の引きで、雑魚処理に少々時間がかかった感があるくらいでした。もう少しがんばれば 2 時間 10 分は切れていたかもしれません。

○あとがき

駒場祭では自己ベストの 2 時間 3 分 46 秒を切るつもりで挑んだのですが、トゥルースピアを 8 回以内にゲットできなかったのが、その時点で諦めました。やはり現実はそう甘くありませんでした。さて、次回機会があるのなら RTA でも珍しい協力 RTA をやってみたいと思います。通常 LOM は一人プレイでは NPC はランダムに動きますが、セーブ選択画面で 2P コントロールを選択すれば NPC を 2P コントローラーで操作できるようになります。こうすることで攻撃力は約 2 倍となり、戦闘に掛ける時間を大幅に短縮できます。反面、フィールド画面では NPC が自動で動いてくれませんので、1P と 2P がほぼ同じ動きをしないとタイムロスになります。本当ならコントローラー二刀流で RTA をやればいいのですが、私にはそんな高度な技はできないのでパートナーを召喚することにします。

聖剣 LOMRTA の記事はここまでです。

私の記事を読んでくださってありがとうございました。